



## 採用選考に向けて

### 第Ⅰ期学習会 みんなで頑張りました！！

5月15日から6月23日まで、101名の学生が教員採用選考試験対策第Ⅰ期学習会を受講し、個人面接や集団討論等の学習を行いました。

学習会の個人面接では、志望理由や受験予定の自治体の特徴を考慮しながら進めたことで、受講生から「よかった」「参考になった」など自信につながる感想が聞かれました。

引き続き第Ⅱ期学習会が始まります。より実情に合った学習の場を提供していきます。



お互いの考えを発表し合い、対話を通して自分の考えを深めました。

### 第Ⅱ期学習会 もうひと踏ん張り頑張ろう！！

7月中下旬となり、教員採用一次試験の結果発表が始まっています。そこで、教職センターでは今後各自治体で実施される二次試験に備え、7月31日(月)～8月12日(土)に第Ⅱ期学習会を開催します。学習会では、個人面接、模擬授業、集団面接・集団討論・場面指導を自治体ごとに、また、英語や体育の実技の学習も本番同様に行いますので、教員を目指す方は必ず参加してください。

### 2023年度夢プロメンバーも頑張っています！

2023から2024年度の「教師への夢応援プログラム」が、2年生8名、3年生49名、合計57名でスタートしました。このプログラムは、教員採用選考試験を突破し教員になるための学習と、採用後、責任をもって教育活動を進めていくことのできる力をつけるための学習会として計画されています。

ところで、教職に係る報道に、新規採用教員の自己都合による退職が増えているというニュースがありました。原因は様々ですが、このようなことがないよう、夢プロは教員採用選考試験に合格した後、「教師として夢ある仕事を続けていくこと」の力を培うことも応援するプログラムになっています。

つまり、採用後の教職を見据えた学びを進めていくプログラムということです。

また、自治体によっては、教員採用選考受験対象者が大学3年生からと早期化が進んでいます。このことから、夢プロの対象者を2年生からにし、また学習活動を選んで選択受講できるようにもしました。今後、追加募集をします。是非、夢を叶えるため仲間と一緒に準備を進めていきましょう。

## 教職センターの事業に参加しよう

【8月】教員採用選考試験対策第Ⅱ期学習会を実施します。自治体ごとのグループで学びます。

第Ⅱ期学習会(前半)7/31、8/1.2.3

第Ⅱ期学習会(後半)8/8.9.10.12

【9月】後期に向けてプロジェクト(1.2年)やプログラム(3.4年)などが本格化します。

本気塾リレー講座 9/7 本気塾全体会 9/14

夢プロ全体会 9/4 Tスタ 9/4～9/7

OBOG 教職の会 9/16 (学校教育との交流の場)

【10月】夢プロ各グループ会や教科会の取組が続きます。

夢プロ全体会-小論文の書き方等 10/12

【11月】先輩たちの経験談を聞くことができます。

アドバイス会 11/9 (先輩から学ぶ)

しゃべり場 11/30、12/7 (先輩に尋ねる)



## 学校で勤務する先輩方から学ぼう

### OB・OG会で、学校で活躍する先輩方から学ぼう！

教育現場で活躍されている本学OB・OGの方々から、教育課題への取組や教育活動実践など、直接お聞きできる貴重な機会です。学生の皆さんには、発表を聞き、先生方と交流することで、自分の教職のイメージづくりをしてもらえたらと考えています。

情報交換の時間も設定していますので、非常勤での採用のことなどを知る、貴重な機会にもなります。



昨年の発表の様子

※先輩が現役学生の皆さんの参加を待っています。

9月16日(土)13:00～(受付12:30～)

9号館4階 教職実践フロア

開催通知にある二次元コードから申し込みできます。

詳しくは二次元コードから教職センターホームページが見られます。

#### 掲載内容

- 学修支援について
- 教員採用選考試験の情報や対策について
- 教職実践フロアについて
- 教職について
  - ◇OB・OGからメッセージ
  - ◇教員になってからの体験談
- その他





## 教職センターを活用しよう

## 教職センターの事業に参加しよう

\* 詳しくは掲示板等で確認してください。

### 教職センターを活用して教員をめざそう

教職センターニュースレターは、教員をめざす皆さんに役立てていただくために、帝京大学の教職課程や教職センターの講座(学修会)・各事業についてお知らせしている広報誌です。

### 教職センターはどこにあって、どう活用したらいいのかな?

教職センターはソラティオスクエア 2階にあり、個別に教職課程に係る相談や教員採用選考試験対策等の指導、助言を行っています。

一方、9号館4階には、「教職実践フロア」という文字通り教員としての実践力を養うための施設があります。「教職実践フロア」は、模擬授業練習室や面接練習室などの教室の他に、教科書や指導書、ICT機器類も揃えています。なお、フロアの全容は下図「教職実践フロア」を参照してください。

また、教職センターでは、本学独自の教員採用選考試験プログラム「教師への夢 ロードマップ」により、1年生から4年生そして入職まで計画的に講座(学修会)等を開催して、教員をめざす皆さんのキャリアサポートをしています。

皆さんには、教職センターを十分に活用して、教職課程に係る学びを深め、教師になるという自分の夢に向かって計画的に準備していくことを期待しています。



### 教職センターからのメッセージ

#### 教職という夢の実現を

教職センター 前川 潤

この4月に本学に着任し、誠実に勉学に励む学生の皆さんの姿に触れ、私自身が新鮮な気持ちでいっぱいです。自然豊かな帝京大学八王子キャンパスで、実り多い大学生活を過ごすことができるよう、学生の皆さんの気持ちに寄り添い、これまでの自身の経験をもとに、共に成長していきたいと思えます。

学生の皆さんには教職センターを積極的に活用していただき、教職という夢の実現とともに、自身の無限の可能性を広げてほしいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

### 主な教職課程及びセンター事業予定【5月～7月】

- 【5月】
- 1日 教育委員会採用選考試験説明会(神奈川) 5限
- 9日 夢プロ全体会 6限
- 10日 教育委員会採用選考試験説明会(相模原) 5限
- 11日 教育委員会採用選考試験説明会(川崎) 6限  
教育実習ガイダンス(小学校) 6限
- 12日 教育委員会採用選考試験説明会(横浜) 6限  
教育実習申込ガイダンス(小学校) 6限
- 15日 I期学習会(開始)
- 16日 夢プロ説明会 6限
- 18日 夢プロ入門I全体会 5限
- 25日 夢プロ入門II全体会 6限
- 31日 夢プロ申込締め切り
- 【6月】
- 13日 夢プロ全体会 6限
- 15日 夢プロ入門I全体会 5限
- 20日 激励会・夢プロ解散式 6限
- 23日 I期学習会(終了)
- 【7月】
- 11日 夢プロ全体会 6限
- 13日 夢プロ入門I全体会 5限  
中高本気塾 6限
- 13・14日 かがやき教師塾説明会 昼休み
- 29日 かがやき教師塾学内選考試験
- 31日 II期学習会(開始)

詳しくは二次元コードから教職センターホームページが見られます。

#### 掲載内容

- 学修支援について
- 教員採用選考試験の情報や対策について
- 教職実践フロアについて
- 教職について
  - ◇OB・OGからメッセージ
  - ◇教員になってからの体験談
- その他





先輩から  
後輩へ

## 学びの気風をバトンタッチ

### 【エール・バトンタッチ会】

1月12日(木)小ホールを会場にして、4月から教職に就く4年生を対象とした「エール会」と、これから教員を目指す後輩に4年生から学びの気風を引き継ぐ「バトンタッチ会」が開催されました。エール・バトンタッチ会では、福島初等教育学科長からのご挨拶と、事務局を代表し黒瀬事務長からお言葉をいただきました。また、バトンタッチ会は、企画・司会運営を3.4年生の代表者が行い、教員採用選考試験合格者による体験発表と、劇を通して3年生の質問に4年生が答えるプログラムなど、内容はもとより学生のアイデアと頑張りが伝わる会となりました。



合格体験発表を行った3人

### 【運営にかかわった3・4年生の声】

- ・打ち合わせの調整が大変だったが、3年生の意欲的な参加で無事終了し安心しました。(4年生)
- ・4年生のリーダーシップによって、充実したパフォーマンスができました。(3年生)



3年生からの質問に答える

### 【参加者の声】

・参考となる取り組みを示してくださることに加えて、『今からでも間に合いますよ!!』の一言で、頑張る気持ちが膨らんでいくのを感じました。

### 【アドバイス会】

バトンタッチ会に引き続き、自治体別、校種別に分かれて先輩の経験を聞いたり、質問したりすることができるアドバイス会が開催されました。参加した3年生は、この時期の試験対策のための学習や生活について多くの質問をしていました。



個別に4年生の経験を聞く

### 【アドバイザーを務めた4年生の声】

「教員採用選考試験の学習を始めたのは、3年の秋頃からでした。自己啓発科目にある「教職教養」「教員採用試験小論文・面接対策」等を勉強しました。3年秋学期の後半からは、教職実践フロアで自習をし、過去問に取り組みました。早めに対策をして、継続的に取り組むことが大切です。仲間と協力して合格を目指して頑張ってください。」

### 【参加した3年生の声】

合格者から具体的なアドバイスを直接受けられたことから、意欲の高まりが感じられる次のような感想が多くありました。

「筆記試験や個人面接等の様子を聞くことができ、大変参考になった。」「試験科目ごとの学習について、細かくアドバイスをもらい、今後どのように学習していったらよいか分かった。」「大学推薦についての話があり、教員採用選考試験に向けた意欲が高まった。」

大学の学びを  
教育現場へ

## 責任をもって教育活動を進める教員に

### 【入職前学習会】

4月教師になってすぐに始まる授業や学級づくりなど、学生の入職に際しての不安や悩みを軽減し、児童・生徒のために責任をもって教壇に立つことができるように、入職準備を行う学習会です。ICT機器の活用の仕方や児童・生徒への指示の出し方など、実際の場面を想定しながら、信頼される教師になるために真剣に取り組みました。学習会に参加した学生は、不安が軽減され、逆に意欲あふれる表情になってきました。



実際の場面を想定した「入職前指導」のプログラム

卒業生へ、そして  
教員を目指す皆さんへ

## 教職センターからのメッセージ

「私の夢は全国の公立学校に帝京大学の卒業生が教員として活躍している」この言葉は10年前に夢プロの学習会で私が講演した時の学生に贈った言葉です。あれから10年、毎年たくさんの学生が教員として全国に羽ばたいております。また、卒業生の中には、管理職をはじめ教育委員会の指導主事等で活躍している人も多くおります。私も帝京大学のOBです。46年前に卒業しました。初等教育ができて2年目でした。当時は文学部教育学科初等教育専攻と言う名称でした。昔から帝京大学の学生は前向きで真面目な学生でした。今もその伝統は続いております。教職センター主催の事業にも積極的に参加し真剣に取り組めます。「何事にも真剣に取り組む」帝京大学の良い伝統を今後も期待しています。(秋本 浩市)

Let's move forward.

Please have confidence in yourself by your own experience and future actions.

Even if you fail, you will learn more from it and move on to the future, which will gradually change to confidence. Please keep moving towards your goal.

We look forward to seeing your bright future. (新庄 恵子)

### 3・4月教職課程にかかわるお知らせ

#### 【各種ガイダンス】

#### 2023年度「教育実習ガイダンス」

中高:3/23(木)、小:3/24(金)、幼:3/24(金)

#### 2024年度「教育実習申込ガイダンス」

3/30(木)(中高)9:30、(幼・特別支援):13:30

(新4年生・科目等履修生):13:30

※開催時刻・教室・対象者は、掲示板やポータルで確認してください。



**合格者の喜びの声【第2回】**

教員採用選考試験合格者から届いた「声」を第24号に引き続きお届けします。

◆初等教育学科 関彩乃さん 茨城県、小学校 一般

早くから教職センターを利用して、一步一步論文や面接の練習を進めたことで、茨城県と東京都の2つの自治体に合格した学生の声です。

私は、学生の中で“一番教職センターにお世話になった”と言っても過言ではないくらい教職センターを利用させていただきました。1次試験対策では、自習室を毎日利用させていただきました。また、心が折れそうになったり、分からないことがあったりした時は先生方に相談にのっていただき背中を押していただきました。2次試験対策では、毎日のように面接練習をお願いしました。その時の質問を、本番ではいくつか聞かれることもありました。

本当に先生方にはたくさんご指導いただきました。私が合格できたのも教職センターの先生方のおかげです。

私の目指す教師像は「花よりも花を咲かせる土のような教員」です。花が咲くことのできるようその子にあった土になりたいです。そして、児童の痛みを自分のことのように考え、児童の喜びを自分のことのように喜べる熱い教員になって児童の未来のために背中を押ししていけるようになりたいです。

◆史学科 渡辺結衣さん 茨城県、中・高社会科 一般  
複数の自治体を受験し、第1志望は1次試験不合格、第2志望が1次・2次と合格しました。その第1志望の1次試験結果が不合格の時、気持ちを切り替えて努力した結果、合格をつかみ取ることでできた喜びの声です。

私は出身地の山梨県を第1志望、母の実家のある茨城県を第2志望として受験しました。第1志望の自治体の対策に多くの時間を使いましたが、第1志望は1次試験不合格。幸いなことに第2志望の自治体は1次試験を合格することができました。この結果が逆に私の力になりました。絶対に教員になるという強い気持ちで、後ろを向いている暇はなく毎日勉強し面接練習をしました。2次試験では、これ以上良い出来はないと思うほど力を出し切る事ができ、結果は合格。1人では絶対にこのようにはできなかったと思います。先生方にお世話になり、そしてずっと一緒に頑張ってきた友人の力があってこそその結果でした。大切なのは自分を追い込みすぎず、成長を楽しむことです。勉強の楽しさを伝える職業だから楽しんだ者勝ちです。

**しゃべり場**

11月10日、12月8日 12:25~12:50 9号館4階 教職実践フロアにおいて、教員採用選考試験に合格した先輩と気軽に話をする「しゃべり場」が開催されました。



25分という短い時間でしたが、自治体・校種別グループでの先輩のアドバイスは得難い貴重な情報となり、

また、先輩との関係づくりの機会にもなっていました。

**教育委員会説明会**

前期・後期にそれぞれ教員採用選考試験に関する各自治体及び私学の特色や選考状況を知ることが目的として開かれています。今年度の後期説明会は11月29日~12月16日に開催されました。各自治体の教育委員会の方から直接、教育施策や教員採用選考試験について説明していただきました。

参加した学生からは「2次試験において、面接が占める割合が高いことをストレートに言っていただいたので、改めて面接の重要性を認識するとともに、面接や集団討論のポイントが分かった。」「説明会で自分の足りない部分について気付くことができた。今後、教員採用選考試験に合格できるよう頑張る。」といった感想が寄せられました。



**1・2月教職センター企画のお知らせ**

**【エール・バトンタッチ会】**

2023年1月12日(木)にエール・バトンタッチ会を開催します。この会は、4月から教職に就く4年生を励ますとともに、次年度教員採用選考試験にチャレンジする3年生(後輩)に4年生が培った努力の軌跡・学びを伝える会として実施するものです。その内バトンタッチ会は、合格体験発表と学生同士のメッセージや感謝の言葉など、学生が主体的に会を運営する形式で行います。

**【入職前学習会】**

2023年1月から2月にかけて入職前学習会を開講します。この学習会は、教職に就く学生が、4月までの入職手続きを確認するとともに、新学期のスタートに備え、着任後すぐに始まる授業や学級づくりなど、赴任に際しての不安や悩みを軽減し、責任をもって教壇に立つことができるよう、入職準備を行う学習会です。1月12日と2月6日から9日に全15講座開講し、いずれも体験的・実践的な学習内容になっています。

また、2月24日(金)に帝京大学小学校で開かれる「教職大学院・帝京大学小学校合同研究会」にも参加します。研究会は午前10時30分から公開授業、午後2時から全体会 教科別授業協議会の時程で進められます。4月から教壇に立つ学生は、教職センターで配布している案内の2次元バーコードから受講申し込みをしてください。なお、教職を目指す1年生から3年生も参加できますので、積極的に申し込んでください。



**教職センターニュースレターを多くの方にお届けします**

教職センターニュースレターは2010年10月に第1号が発行されてから13年間、教職センターの事業や教職課程を履修している学生の様子などを、保護者の方や教育関係者、本学を目指す高校生の皆さんにお届けしてきました。そのニュースレターの対象を学生の皆さんにも広げ、さらに円滑に届けられるよう、今年度から電子出版物で発行することにしました。このことにより、帝京大学の教職課程について、これまで以上に広く多くの方にお知らせすることができるようになります。そして、閲覧される皆さんには、これからも教職センターニュースレターを本学の教職課程に係る情報の一つとしていただきたいと思います。

電子出版物は帝京大学のホームページと、学生の皆さんにはポータルやLMSからもご覧いただけます。ホームページは[https://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/teaching\\_lab](https://www.teikyo-u.ac.jp/affiliate/laboratory/teaching_lab) または、右の二次元バーコードからアクセスすることができます。



**合格者の喜びの声【第1回】**

教員採用選考試験合格者から届いた「声」を2回にわたってお届けします。

**◆初等教育学科 西村梨来さん 横浜市、小学校 大学推薦**

教員採用選考試験に大学推薦制度がある教育委員会があります。これは、自治体が指定する推薦基準を満たす学生で、当該自治体での採用を第一希望として、学長が推薦する学生が対象になります。(注:大学推薦を受けた自治体に合格した際には、必ずその自治体に就職することが大学推薦の条件になっています。)

合格発表の瞬間、自分の番号が見付かって、今まで頑張ってきたよかったと心から思いました。そしてその喜びを一番に両親へ伝えました。自分一人ではここまですることは不可能だったと思います。どんな結果であれ、友達と先生と、家族と駆け抜けた教員採用選考試験までの日々が宝物であると思える時間を過ごすことができました。私は大学推薦で横浜市を志望したので、一般受験の人よりも早くスタートを切れるように準備を進めました。自分と同じ自治体の人と学習することに拘らず、いろいろな人と学習することで良い刺激が得られました。教員採用選考試験に精通している教職センターの先生方が的確に指導してくださいました。

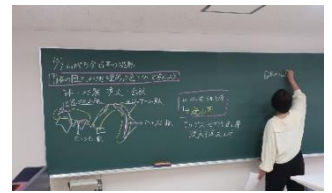
**◆史学科 笠原理加さん 川崎市、中・高等学校 一般**

教員採用選考試験を受験する自治体を決める際、働きたい自治体と合格の可能性とを考えて悩むことがあると思います。

現役で合格することが難しいと聞いていたので、試験の結果発表で自分の番号があった時、驚きすぎて腰が抜けそうになりました。私は一般選考で第一志望の川崎市を受験するか、大学推薦で第二志望の相模原市を受験するか迷っていましたが、悩みに悩んでやはり一番働きたい川崎市を受験することを決意し、最後の1分1秒まで大切にたくさん学習してきました。今までの人生でこんなにたくさん勉強したのは初めてであり、途中で心が折れそうになって何度も泣きましたが、絶対教員になりたいという目標を強くもって走り抜きました。その努力が報われたことが嬉しく、何よりも合格したことで自分に自信をもつことができました。本当に嬉しいです。

**教師力養成講座**

来年4月から教壇に立つ学生や教職を目指す学生が、体験的な学修活動(授業づくり、ICTの活用等)を通して、教師として必要な実践的な指導力を身に付けるための「教師力養成講座」が開催されています。どの学年でも参加することができます。ぜひ、ご参加ください。



板書計画に基づいた活動の様子

**11月・12月教職センター企画のお知らせ**

**しゃべり場**

今年の教員採用選考試験に合格した先輩から直接話を聞いたり、質問したりすることができる場(機会)です。教員採用選考試験対策や大学推薦のこと、各自治体の情報の集め方など、具体的な話を聞くことができます。お昼の時間ですから気軽にご参加ください。  
 日程: 11月10日(木) 12月8日(木)の2日間  
 時間: 12:25~12:50 場所: 9号館4階

**教育委員会説明会**

各教育委員会から教員採用選考試験について話を聞くことができます。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県・千葉市、さいたま市、川崎市、横浜市、茨城県、相模原市(説明会日程順)の9つの教育委員会と私立学校の説明会が行われます。日程は掲示・チラシで確認ください。

**教職センターの教員からのメッセージ**

諦めからは何も生まれない 篠原 政一

都内公立中学校教員・管理職として36年間勤め今年度より、教職センターの准教授として着任いたしました。バレーボールが大好きで、学生の時は選手として、教員時代は部活動指導に努め、管理職となってからは運営側で大会のサポートに携わりました。この時の経験からも「諦めからは何も生まれない」をモットーにしています。本学でもこのことを心がけ、教職を目指す学生の皆さんを全力でサポートさせていただきます。精一杯、頑張りますので、よろしく願いいたします。





## 新たな夢へのチャレンジ

教職センター主任 新庄 恵子

「自信は練習量に比例する」二次対策集中学習会に参加した学生の言葉です。この言葉から、教師になりたいという夢の実現に向けて、これまで懸命に努力を重ねてきたことがわかります。集中力を高めて、本番のつもりで緊張感をもって面接練習や集団討論に臨む学生の真剣な姿、仲間と共に学び、それぞれの課題を克服しながら日々努力をし続ける姿を、大変頼もしく感じました。

時間は過ぎてゆくのではなく、積み重なっていきます。これまでの、そして、これからの一分、一秒が積み重なり、未来につながっていきます。今の一瞬一瞬が皆さんの未来を創ります。

来春から教壇に立つ人、学校教育とは違う形で子供たちの学びを支える人、帝京大学での教職課程履修を通して、また、様々な学びを通して培った力を精一杯発揮してほしいと思います。皆さんの夢へのチャレンジはここで終わったわけではないと思います。卒業後に進む場所で、また、新たな夢に向けたチャレンジを続けていくことを期待しています。

さて、2021年11月に9号館4階の「教職実践フロア」がリニューアルオープンしました。模擬授業室や面接練習室、電子黒板やタブレット端末などのICT機器もあり、現場で活用できる実践的な力を身に付けてほしいという思いからこのフロアをリニューアルしています。

模擬授業室では、教科の指導法などの授業で模擬授業を行い、学生の授業の様子を録画して協議したり、次の授業への参考にしたりすることができます。

模擬授業練習室は少人数で使用でき、様々な教科の模擬授業に向けて、学生だけで板書の仕方や教材の提示方法など、試行錯誤しながら授業作りをしている学生の様子が見られます。その他、T-BASEには相談カウンターや、個別学習エリア、ミーティングエリア、教材作成エリアなどがあり、学生の学びを支援できる体制、設備を整えています。

教職実践フロアには、今日も模擬授業やディスカッション、教材作りを通して、学び合い、お互いを高め合い、夢に向けてチャレンジする皆さんがいます。

今後も多くの学生が教職実践フロアを活用し、教師としての実践的な力を身に付けることができるよう支援しています。

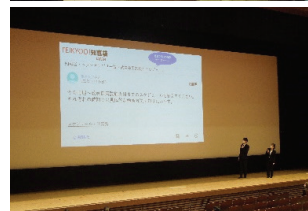
## 学びの気風の継承 入職前学習会 エール・バトンタッチ・アドバイス会

2022年1月13日(木)、新年度から教壇に立つ4年生の第1回入職前学習会がキュリオシティホールで行われました。その後引き続き、次年度教員採用選考試験をめざす3年生と教職員が加わり、エール・バトンタッチ会が開催されました。

エールは4年生のこれまでの努力を称え、教員としてのこれからの活躍を期待し応援する会であり、バトンタッチ会は4年生が3年生に本学の学びの気風というバトンを渡す会です。バトンタッチ会は3・4年生代表者の企画・進行で行われ、3年生からの質問に4年生が答えるなど、真剣な内にも和やかな雰囲気です。

また、その後に自治体別、校種・教科別に各教室に移動しアドバイス会が行われました。ここでは4年生が使った参考書の紹介や勉強の進め方に加え、気持ちのコントロールの仕方や試験直前の過ごし方など、経験に基づいたアドバイスがされました。

- (1) 入職前学習会第1回
- (2) エール
- ① 記念品贈呈
- ② 4年生への励ましの言葉
- ③ 4年生と教職員の記念撮影
- ※3年生入場
- (3) バトンタッチ会
- ① あいさつ
- ② 合格体験発表
- ② 3年生から4年生への質問
- ④ 事務連絡(アドバイス会  
会場等の案内)
- <移動>
- アドバイス会
- 自治体ごとに分かれて4年生代表が3年生にアドバイスをする。



アドバイス会では、校種、自治体別に教員採用選考試験合格者がどのように勉強を進めてきたのかが具体的に伝えられました。



### 「リアル」と「最先端」 教職実践フロア活用法

2021年11月に新しくなった、9号館4階の「教職実践フロア」。学校の教室をリアルに再現するとともに、最先端の機器によってみなさんの学修をサポートします。そこで今回は新しい「教職実践フロア」で何ができるのかを紹介していきます。

**ここがリアル**  
模擬授業室1と2は同じ機器が設置されています。教室は実際の小中学校の大きさと、教室での活動がイメージできるようになっています。模擬授業室1は中学校、模擬授業室2は小学校を想定しています。机やロッカー、掃除用具まで、実際の学校で使われているものを使っています。授業の児童生徒席の配置や清掃指導などについても学ぶことができます。



模擬授業室 2

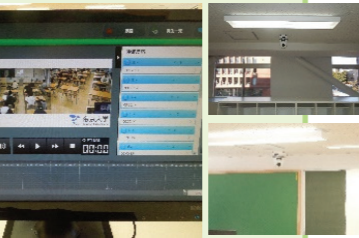
**ここが最先端**  
個人がもっているスマートフォンが模擬授業室の中ではクリッカーになります。授業をしながらアンケートをとったり、授業のよいところや改善点を明確にしたりすることができます。



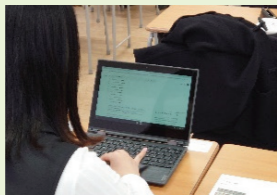
**ここが最先端**  
教室の前後にあるカメラで授業者と教室の様子が同時に録画できます。タイムシフトとともにクリッカーの結果がグラフ化され録画の記録の中に残るため、後で児童生徒役の反応を確認できます。記録はデータとして持ち帰ることができます。



**ここが最先端**  
GIGA スクール構想による1人1台端末を有効に使った授業を行うため、模擬授業室1にはiPadを、模擬授業室2にはchromebookを配備しています。



**ここが最先端**  
黒板がそのまま、電子黒板としても使えます。これまでの黒板を使った授業とICTを利用した授業とを効果的に組み合わせた授業づくりができます。



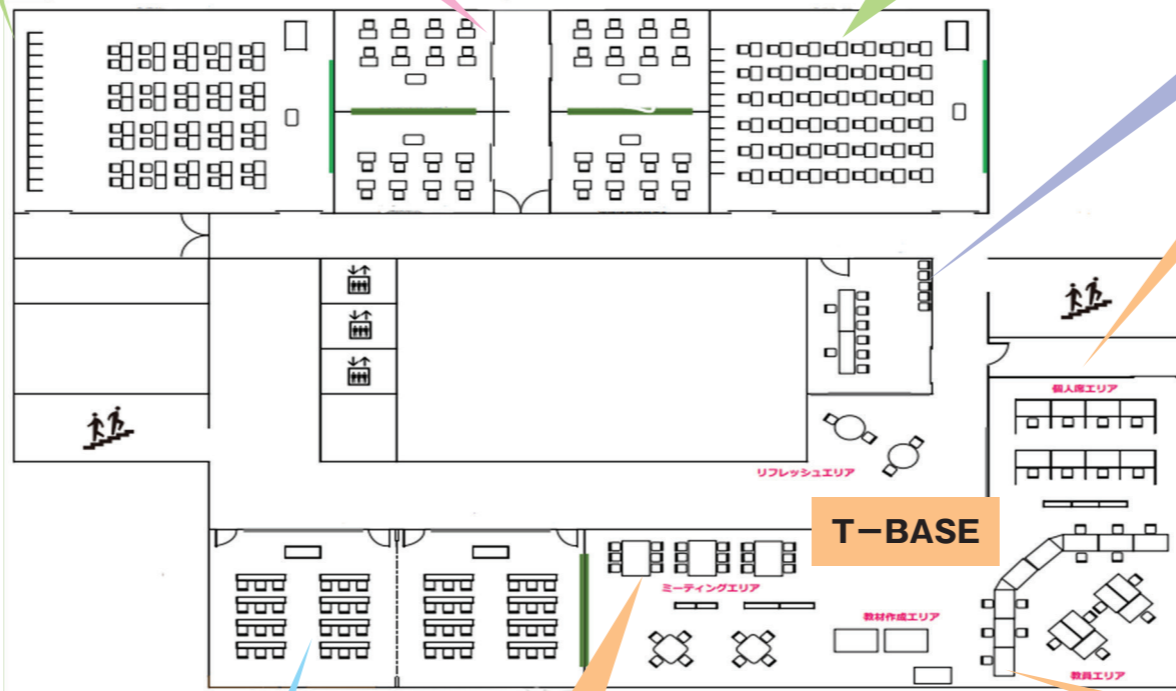
**ここが最先端**  
模擬授業室1や2で行っている授業の映像を離れた模擬授業サポート室に映して見ることができます。模擬授業室で行われている授業について映像を見ながら協議したり、記録したりすることを通して授業力を高めることができます。2つの教室の間はパーテーションで区切られていて、学修の内容によって様々な使い方ができるようになっています。



模擬授業練習室 1～4

**ここがリアル**  
教室の1/4サイズの部屋で、模擬授業の練習や、つくった教材を実際の黒板やICT機器を使って確認をすることができます。部屋によって設置されているICT機器が違うので実際の授業を想定した部屋を選びながら練習をすることができます。

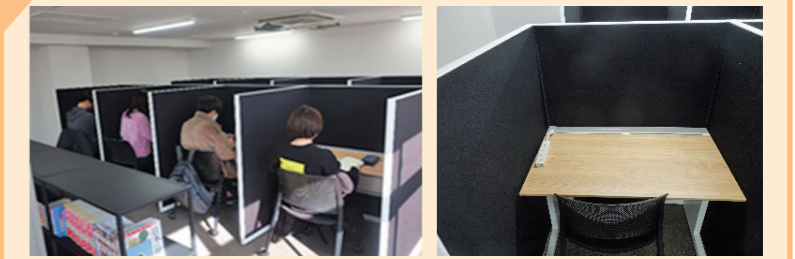
模擬授業室 1



面接練習室

**ここがリアル**  
面接は試験ばかりでなく、企業や学校へ訪問する際や、自治体の実施しているプログラムに参加するときなどにも行われます。どのような会場で面接が行われても、落ち着いて臨めるよう、入り口も引き戸と扉の両方を想定して練習ができるようになっています。

個別学習エリア



**ここがリアル**  
個別に区切られたスペースで集中して学修ができます。そして、すぐ後ろには教員経験の豊かな先生がいて、いつでも質問することができます。大学での学びと教育現場とをつなげて学びを進めることができます。また、電源が使えるのでPCを持ち込んでの勉強にも最適です。

相談カウンター



**ここがリアル**  
教職にかかわる具体的な相談ができます。また、教員採用選考試験に向けて小論文の指導や面接票などの指導を個々のニーズにあわせて受けることができます。学校でボランティアをしたい人のための相談や、実際の学校での活動について相談することもできます。模擬授業練習室やピアノレッスルールの貸し出し受付もここでを行っています。

ミーティングエリア



**ここがリアル**  
みんなで授業について話し合ったり、教材を作成したりすることができます。学習指導要領や教科書、授業づくりにかかわる資料などもそろっているため、実際の授業を想定しながら指導案や教材が作れます。みんなで検討した授業をすぐに模擬授業練習室で試すことができます。

模擬授業サポート室 1・2



## 在学の学生もぜひ参加を。 第9回 帝京大学 OBOG 教職の会

OBOG 教職の会は、本学を卒業し、教育にかかわる現場で活躍している OBOG 同士をつなぐとともに、在籍中の学生と学校現場の先輩方をつなぎ、教育活動等について連携協力できる関係づくりを行うことを目的として開催しています。

第9回の開催については、当初9月に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況から2月5日（土）に延期して開催しました。対面での会を計画していましたが、残念ながらこの時期も感染状況が落ち着かずオンラインでの開催となりました。

第1部 13:30～9号館教職実践フロアの紹介

第2部 13:50～全体会

1) 開会行事 幹事長 開会挨拶

2) 来賓挨拶

3) 新管理職紹介

4) 学校の取組みの発表

稲城市立稲城第六小学校校長 森田賢先生

立川市立幸小学校教諭 井口裕汰先生

5) 質疑応答

6) 今後の連絡方法のお知らせ

会の中心はプログラムの「4) 学校の取組みの発表」です。稲城市立第六小学校長 森田賢先生からは管理職の立場で学校での取組みを、立川市立幸小学校教諭 井口裕汰先生からは若手教員の立場で自分の取組みを発表していただきました。どちらも、これから教職を目指す学生の皆さんにはぜひ聞いてもらいたい内容でした。2022年度在学中の皆さんの参加をお待ちしています。

## 教育委員会説明会

自治体の教育委員会の方が本学に訪問し、春と秋の2回、教員採用選考試験にかかわる説明会が



開かれます。ここでは、教員採用選考試験についてだけでなく、各自治体の取組みや求めている教師像についてもお話ししていただきます。その年に教員採用選考試験を受ける人はもちろんですが、これから教員を目指す皆さんにとっては、大学生活を通してどのように学んでいけばよいかを考える機会になります。

また、複数の自治体の説明会に参加することで、自分が目指す自治体の特徴が明確になるとともに、どの自治体でも求められている教師像を確認することができます。

## 2021年度 教員採用状況

(2022.3.15 現在)

		1次合格	2次合格	期限付き等
公立小学校		123	71	16
公立中高	国語	8	7	0
	社会	2	1	0
	英語	12	7	2
	保健体育	6	1	1
私立中高	社会		3	
特別支援学校		9	7	1

教員採用選考試験に合格して終わりではなく、入職に向けて準備をして、4月を迎えるようにします。



(入職前学習会 帝京大学小学校研究会に参加)

## 教職センターからのメッセージ

学びの基本「尊敬・感謝・礼儀」

角杉美恵子



教職課程の集大成である教職実践演習の最後の授業では、『共に学んだ仲間たちや丁寧に面倒を見てくれた先生方に出会え、充実した大学生活が過ごせたことを誇りに思っている。』と互いに称え合う姿があります。私も素敵な先生を目指して真剣に取り組む学生の学びの姿にパワーをもらい、様々な方々との関わりから多くを学び、共に学びあうことに喜びを感じてきました。

自分にもっていないものは教えられません。人は人と人との関わりの中で学びます。「尊敬・感謝・礼儀」を学びの基本として、共に学びあうことに喜びを感じ、使命感と教育愛に溢れる心豊かで質の高い教師になってください。

苦しいとき、迷ったとき、帝京大学での学びや教職センターとのつながりを思い出してください。力強く前に進む手がかりが見出せると思います。教職センターはいつでも皆さんを応援しています。